

紀のわ

ki no wa

Vol. 3
2025 July

7



／新連載！／

JAわかやまエリア紹介

紀のWalker わ キノウォーカー

～みくまの地域編～ | 06 |

● 女性会設立総会 | 04 |

● 各地域で総代懇談会 | 05 |

農人

その農産物、
この人あり

Vol.
02

AGURI-BITO

梅は全国生産量の半数以上を和歌山県が占める。中でもみなべ町や田辺市は古くから栽培が盛んで、平成27年には「みなべ・田辺の梅システム」が世界農業遺産に認定された。そんな世界に誇れる梅干しの生産に携わる田辺市の岩見健生さんは、徹底した栽培管理のもと、紀州梅の名に恥じない「白干し梅」の一次加工に励んでいる。

国際基準に基づき徹底管理

「J-GAP」認証梅干しを生産

梅生産者

紀南地域「田辺市下三栖」

梅部会 部会長

岩見 健生 さん
(53歳)

梅農家の長男に生まれた岩見さんは和歌山県農業大学校（現・和歌山県農林大学校）を卒業後、旧JA紀南の営農指導員として働き始めた。しかし入組してわずか7カ月目に父親が急逝した。当時21歳。「跡を継ぐのは自分。やるしかない」と気持ちを奮い立たせ、農業の扉をたたいた。

就農当初は近所の人に教わりながら梅の消毒や肥料のやり方などを学んだ。いまの栽培面積は3畝で経営は比較的安定しているが、当時は1・5畝で収支は厳しかったという。さらに梅の価格暴落が経営を圧迫した。転機が訪れたのは15年前のこと。JAの呼びかけで梅干しに

新たな付加価値をつけようと、食品安全管理の国際基準にのっとった生産を目指す「SQF梅生産研究会」を立ち上げることとなった。興味本位で説明会に参加した岩見さんだが、そのまま初代の会長に就いた。

いざ取り組みをスタートするも、梅干しを生産する工程において、認証を得るための安全・安心への対策や衛生管理の基準は、想定を上回っていた。

例えば、肥料や農薬を購入した際にはその都度棚卸帳に記入し、使用のたびに在庫が合うか精査する。栽培管理の日記は毎日細かく記帳しなければならず、園地や倉庫に置くものは限定され、整理整頓は必須。従業員の雇用に関するルールも多い。

そんな中、会員の徹底した基準遵守や取り組みに対する意識の高さが実を結び、2019年、「J-GAP団体認証」を取得。安全・安心の太鼓判が押された梅干し出荷にこぎつけた。現在は団体名を改め「GAP・HACCAP梅生産研究会」として活

動している。

認証された梅干しは価格保証され、引き取りの優先度も上がる。岩見さんは「手間を差し引いたらトントンやなあ。でも、頑張ればそれだけプラスアルファがつくんやから続けていきたい」と意気込む。

規模拡大と研究会への取り組みにより経営も軌道に乗り、安定した梅干し生産にまい進しているが、「常に自然環境に左右されるのが農業の難しいところ」と岩見さん。これまで何度か直面したが、特に昨年の凶作と2年連続のひょう被害で、そのことを痛感しているという。

もう一つ課題に挙げるのは労働力不足だ。岩見さんは「後継者不足の前に、人手不足をなんとかせなあかん」を合言葉に様々な取り組みに着手している。梅の繁忙期に公務員の副業を認めてもらえないか県に打診したり、部会では幼稚園や小学校の保護者向けに、梅のPRを兼ねて農業を手伝ってみたいかと呼びかける計画も立てている。

「生産者らは少ない人手から逆算し、園地を縮小していく傾向が強い。農家は無料職業紹介所等にどんどん登録すべきで、そこに雇用条件などを載せておけばマッチングしやすい」と岩見さん。安心して農業ができるよう労働力不足の解消を優先すべきだと考える。

6月、紀南地域では「南高」の収穫がピークを迎える。予期しないタイミングで就農して30年あまり、豊作・不作による価格の乱高下、そしてひょう被害など数々の正念場を経験した岩見さんだが、産地を守り続けたいとする信念は少しもぶれず、今年も梅干しづくりに精を出す。



紀州梅干しの代名詞である「南高」

会員215人が出席し
設立総会

県内1つのJA女性会が発足

初代会長は上岡万起子さん(紀の里地域)



参加者全員による「JA女性組織綱領」の唱和



副会長 小林 孝子さん



副会長 堀川 政代さん



会長 上岡 万起子さん

新JA女性会設立委員会は5月21日、和歌山市の和歌山城ホールで「JAわかやま女性会設立総会・記念大会」を開きました。会員215人出席のもと3つの議案を審議したところ、初代女性会の会長には紀の里地域の上岡万起子さんが選任されました。これまで積み上げてきた活動をさらに発展させ、JAを抛り所に仲間とともに「元気な地域」づくりに貢献する新たな活動にも取り組んでいきます。



開会のあいさつを行う山田委員長

女性会は、健全な食と農を次代に引き継ぐため、JAに結集して活動する組織。女性たちが自分らしくいきいきと暮らせること、さらに地域や社会が豊かになることを目指し、地域に即した幅広い活動を行っています。

JA合併にともない、県内8つあった女性組織も1つにまとまり、県本部と地域本部で構成する組織として生まれ変わりました。会員数は8903人、うち、フレッシュミズ部会員は343人(令和7年3月末)。旧JA単位であるわかやま、ながみね、紀の里、紀北、ありだ、紀州、紀南、みくまのに地域本部を設

置しています。

重点活動項目として、①JA女性組織の拡充・活性化と情報発信対策②組織リーダーの育成、フレッシュミズ組織の育成強化③SDGsに対する理解や「食」「農」「地域」を守る活動④農業・JA・協同組合・女性組織についての理解促進とJA運営への参加・参画対策⑤文化活動と地域連帯の強化活動に向けた取り組みを行います。

総会には、和歌山県の川尾尚史農林水産部長やJAわかやまの坂東紀好組合長らJA役職員らが出席した中、設立委員会の山田和美委員長が「JAわかやま女性会として、

あなたの人生はあなただけ! 佐々木秀実さんが講演

設立総会終了後の記念大会では、シャンソン歌手の佐々木秀実さんによる「自分らしく生きなさいよ!」と題した講演会とコンサートが行われました。

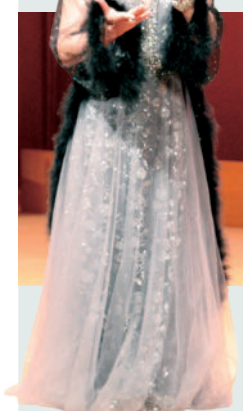
佐々木さんはプラス思考でいかに心が豊かになるか、非日常



すばらしい歌声と、軽妙なトークで笑顔あふれた講演会

的なことを取り入れることで人生がより楽しくなるかなど、自身の経験をもとにユーモアを交えながら講演。「自分の時間を大切にし、今日あった良い出来事を振り返り心豊かに生きてほしい。あなたの人生はあなただけ!」と熱弁しました。

講演の終盤には生歌を披露。客席に降りて歌う場面もあり、会場は大いに盛り上がり、アンコールでは全員で「ふるさと」を大合唱。終始、笑顔あふれる記念大会となりました。



「愛の讃歌」と「ろくでなし」2曲を披露

これまで培ってきた活動に加えて新たな活動も模索しながら進めていきたい」とあいさつしました。

続いてJAわかやま女性会設立までの経過報告があり、議事として令和7年度の活動計画や役員の選任など3つの議案を審議した結果、全議案とも全員の賛成をもって可決しました。

また、県JA女性組織の発展に多大な貢献をいただいた、脇田保美さんと嶋本節子さんに感謝状を贈呈しました。本部役員は次の通りです。
(敬称略、カッコ内は地域名)

会長 上岡万起子(紀の里)▽
副会長 堀川政代(わかやま、
小林孝子(紀州)▽監事 田中
清美(ありだ、檜原貴子(みく
まの)

決算結果や事業計画を報告

総代から意見・質問も



紀州地域で開かれた総代懇談会

J Aわかやまは5月から6月にかけて、総代懇談会を県内の8地域本部で開きます。6月に開かれる総代会の提出議案等について説明を行い、組合員との対話を通じて意見や要望を事業運営に反映させるのが目的です。

5月中は紀南・紀州の2つの地域本部で開催。合併前の令和6年度決算結果や、新J Aとしての7年度事業計画、全体及び地域本部ごとの自己改革工程表についてJ Aから説明しました。

総代からは「年間5億円の農業振興支援制度を、ぜひ後継者支援のために有効に活用してほしい」「合併したことで、購買事業等でスケールメリットは出るのか」といった意見・質問がありました。

6月はわかやま、紀の里、紀北、ながみね、ありだ、みくまの6地域本部で懇談会を開催。26日には和歌山市の和歌山城ホールで「第1回通常総代会」を開き、会計監査人の選任や、県農の権利義務の包括継承および権利義務承継契約書の承認について、目的積立金の設定など5つの議案を上程します。



質問を投げかける総代

今後のスケジュール

📅 …開催日時 📍 …開催場所

①みのりみのるマルシェ「和歌山の実り」

★東京・大阪で同時開催！

📅 7月5日(土) 10時～18時

📍 銀座三越9階 銀座テラス(東京会場)

📍 JR大阪駅南口ゲートビルディング
2階「アトリウム広場」(大阪会場)

②アースガーデン“夏”ヨルイチ

📅 7月4日(金) 16:00～21:00

7月5日(土) 14:00～21:00

7月6日(日) 14:00～20:00

📍 代々木公園 イベント広場(東京都渋谷区)

③ふふふ・フルーツ今が旬！日本の果物2025

📅 6月25日(水)～6月30日(月)

📍 阪神百貨店梅田本店1階 食祭テラス

④「和歌山の桃」フェア

📅 7月2日(水)～7月8日(火)

📍 阪急百貨店うめだ本店 地下1階
ソリーテラス



和歌山の旬の味を試食



生産者とJA役員が試食を提供

■関西万博で県産物の魅力PR
和歌山県産物の魅力を発信するため、J Aわかやまは4月30日、大阪・関西万博で青梅の加工体験と新ショウガのレシピを披露しました。このほか梅ジュースや新ショウガのつくで煮の試飲・試食もあり、多くの来場者でにぎわいました。

■大阪で梅・新ショウガのトップセールス
J Aわかやまは5月27日、6月にピークを迎える梅と新ショウガをアピールするため、大阪中央青果株式会社のも菜売り場でトップセールスを行いました。生産者代表が産地概況とあわせて県産をPRしたほか、試飲・試食会を実施。7年産販売に向け市場に協力を依頼しました。

和歌山
ココロ
カ通信
Vol.01

お問い合わせはJ Aわかやま本店販売部果実販売課(☎073-488-5581)まで

新連載!

JAわかやまエリア紹介

No.1

紀のWalker

キノウォーカー

みくまの
地域編



【ナビゲーター】●みさき支店／西村 涼楓さん ●みくまの営農経済センター／嶋口 怜旺さん



イチゴ

みくまの地域特産品の「まりひめ」は黒潮がもたらす温暖な気候の元で育った和歌山県オリジナル品種です。出荷シーズンは12月中旬から5月中旬まで。

甘みが強く、
口に入れるとイチゴの
風味がいっぱいに
広がります。

めっちゃ
おいしいです!

イチゴ生産者
松出 真紀さん



水稲



今年も順調に
生育しています!



水稲生産者
桑野 稔近さん

山に囲まれた美しい水田 (那智勝浦町)



花木



シキミヤ
サカキなど
特産林産物も
盛んです!

まりひめシェイク

腸活の一環としてJA女性会が考案。米麹、グラニュー糖と「まりひめ」を漬込み、ヨーグルトとバニラでシェイクにアレンジ!



地域本部長 向井 和央

みくまの地域は、県南東部に広がる自然豊かな地域です。農業では、県のブランドイチゴである「まりひめ」が地域特産品のひとつ。さらに、熊野の清らかな水を活かした米作りも盛んで、地元産の美味しいお米を味わえます。そのほか、那智勝浦町のマグロなど海の幸も豊富です。観光面では熊野三山（熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社）があり、多くの観光客を魅了しています。自然、歴史、グルメが調和する当地域へ、ぜひ一度足を運んでみてください。



★みくまの地域本部 TEL0735-52-0793
東牟婁郡那智勝浦町天満122

①那智支店 TEL0735-52-0241
東牟婁郡那智勝浦町天満122

②太地支店 TEL0735-59-2036
東牟婁郡太地町太地3394-1

③新宮支店 TEL0735-22-0127
新宮市井の沢10-1

④みさき支店 TEL0735-31-7018
新宮市三輪崎1078-1

⑤西向支店 TEL0735-72-0079
東牟婁郡串本町西向763



牡羊座
3/21~4/19

全体運 厳しい状況ですが改善の兆しも見えています。もう一度情報収集を。見直せば良い案が浮かぶはず。連絡はまめに
健康運 適度な運動を心がけて。やり過ぎは禁物。健診は◎ 幸運の食べ物 ラッキョウ

道の駅 奥熊野古道ほんぐう

JAが運営する道の駅。観光客に食事やお土産を提供する“熊野古道歩きの拠点”と、地域の方々に日々の食材を提供する“地元の冷蔵庫”の2つの役割を担うスポットで、生産者コーナー「ふれあい市」には毎日新鮮な野菜が並びます。

田辺市本宮町伏拝904-4
TEL.0735-43-0911 [9:00~18:30]
定休日(1月1日~3日)

ほうじ茶 ソフトクリーム

本宮町で収穫した茶葉から作ったほうじ茶がたっぷり練りこまれており、香ばしい香りと程よい苦みが口に中に広がります。



ぜひご賞味
ください!



「ふれあい市」は産直ならではの“新鮮”“食べごろ”の野菜や果物を安価で販売しています。

本宮大社に
訪れた際は
ぜひ立ち寄って
ください!



地域とつながる活動



くじらのモニュメント

東牟婁郡太地町森浦637-4

くじらの町 太地町には町のいたるところにクジラ関連スポットが!



ブルービーチ那智

東牟婁郡那智勝浦町浜ノ宮

約800mの美しい砂浜は県内でも最大級の規模。環境省から「快水浴場百選」の中でも特に優れたものとして「海の部特選」に選定されています。



一枚岩

東牟婁郡古座川町相瀬290-2

高さ約100m、幅約500mの一枚岩は、国の天然記念物に指定されています。目の前には古座川が流れ、自然豊かな場所に位置し四季折々の景観を楽しむことができます。

オススメ観光スポットも目白押し!!



味噌づくり

毎年大人気の味噌づくり。若手のフレッシュミズ会員など今年は66人が参加しています。



地域農業を発信

地元ケーブルテレビで地域農業応援番組「畑のレシピ」を制作・放送中。職員が出演し、好評いただいています。

地域に寄り添った事業



Aコープランチス店・Aコープなち店

地域の食を支えるJAのお店Aコープランチス店®となち店®。食材にこだわり、生産者コーナー「ふれあい市」も設置。



セレモニーホールなち

大小2つのホールと、家族葬を執り行える和室を備えています。



みくまの営農経済センター

地域農業を支える拠点の営農経済センターです。





ながみね
地域

児童の野菜苗植付体験を支援 紀美野営農生活センター

紀美野営農生活センターは5月12日、職員が紀美野町立下神野小学校の野菜植付体験を支援しました。

同センターの樋瀬貴哉副センター長と浦健士宮農相談員が、児童たちに野菜の植え方をアドバイス。1年生はミニトマトやオクラ、2年生はミニトマト、3・4年生はサツマイモ、5・6年生はナスやキュウリ、ピーマンを植えました。

参加した児童たちは、真剣な表情で植え方を教わり、収穫するまで水やりや生育状況等を観察。今後毎日交代で管理を行うほか、サツマイモは秋ごろに収穫体験も実施します。



わかやま
地域

地域本部独自対策を周知徹底 組合員に農業振興支援制度を説明

JAわかやまでは「令和7年度農業振興支援制度」に係る地域独自の課題解決を「地域本部独自対策」で設定し、地域農業の振興を後押ししています。野菜、果樹など多彩な農産物を手掛けるわかやま地域では、「新しうが安定生産対策」や「軟弱野菜安定生産対策」「人参安定生産対策」「農業抵抗性対策」「イチジク株枯れ病対策」「水源確保対策」など計8種を設定。各営農センターが中心となり、説明会や個別対応で組合員への周知徹底を進めています。支援制度は次年度も計画しており、高い事業効果での更なる農業所得の向上を目指し、要望や意見を集約して取り組んでいきます。



紀北
地域

特産の柿の摘蕾を体験 JA新採職員が農業研修

紀北地域では、JAの新規採用職員が農作業を体験し、農業やJAへの理解を深めるために毎年農業研修を実施しています。今年も4月24日・25日、九度山町にある農業経営事業の園地で、新採職員7人が特産である柿の摘蕾作業を体験しました。

摘蕾は、果実の生育を良くするために、開花前に余分な蕾を摘み取り間引く作業。職員はほとんどが未経験者で、営農指導員の指導を受けながら摘蕾作業を行いました。

秋には柿の収穫体験を予定。摘蕾と収穫作業を体験することで、柿が実るまでの過程を学びます。



紀の里
地域

「メンマ」の特産品化と地域活性化へ 名手^{なてかみ}上の将来を考える会

紀の里地域の名手上地区で活動する「名手上の将来を考える会」は5月6日、13人の会員が名手上西集会所と会員作業場で「メンマ作り」を行いました。同会は耕作放棄地等の竹が隣接する果樹園に侵入する等の問題が増えてきたことから、以前より駆除した竹を活用した「竹灯籠」づくりとイベントとして「竹灯籠まつり」を行っています。今回は3年の思考錯誤を重ね、新たに「メンマ作り」を立案し、この日は約50本のタケノコを調理し試食会を開きました。同会の小西廣治代表は「今後は、地元特産品『名手上メンマ』として、地域活性化に繋がっていききたい」とのことでした。



双子座
5/21~6/21

全体運
健康運

好きなものに目がなくなりそう。羽目を外しやすいので、やり過ぎには気を付けて。友人とのレジャーは楽しめます
危険な所には近寄らない。いつも通りが◎

幸運の食べ物 カボチャ



紀州 地域

仕上がり上々、小玉スイカ「ひとりじめ」 7月下旬まで1200トの出荷見込む

紀州地域では5月6日から小玉スイカ「ひとりじめ」の収穫がスタートし、出荷本番を迎えています。今年は収穫前に寒暖差が大きい日が続いたことで糖度が高く、仕上がりは上々。収穫は7月下旬頃まで続き、京浜、中京、関西の市場へ約1200トの出荷を見込んでいます。

「ひとりじめ」は糖度11度以上と高糖度で、大玉スイカに負けないシャリ感が特長。まさに「独り占め」したくなるおいしさに加え、冷蔵庫に入る手ごろなサイズということもあり人気を集めています。JA担当者は味には自信がありますので、ぜひ皆様に食べていただきたいと思います」と話しています。



ありだ 地域

児童が「ししわかまる」の定植体験 金屋営農センターそ菜部会が連携

金屋営農センターのそ菜部会シシトウ部門は5月16日、有田川町立鳥屋城小学校5・6年生の児童たちと特産野菜「ししわかまる」の定植体験を行いました。地域農業や食文化への理解を深めるこの活動は今年で4年目となります。

児童たちは営農指導員の説明を受けながら、辛くないシシトウ「ししわかまる」の苗を一つひとつ丁寧に植えました。地元ブランド野菜に触れる貴重な機会となっており、この取り組みが全国のコンクールで表彰されました。



みくまの 地域

お米の授業で食農教育活動 バケツ稲作りに向け事前授業を実施

みくまの営農経済センターは5月22日、新宮市立三輪崎小学校5年生2クラス(計74人)を対象に、食農教育活動の一環として「お米の授業」を実施しました。

粳や糠、白米などの実物を用意し、児童たち実際に触れてもらい、手触りや感触を確かめながら授業を進めました。

地元で栽培されている水稻の特徴についても紹介したほか、お米の銘柄名や全国の収穫量ランキングをクイズ形式で出題するなど、楽しみながらお米について学んでもらいました。6月中には、バケツ稲作りに向けて挑戦する予定です。



紀南 地域

アドベンチャーワールドの動物飼料に すさみ支店が春キャベツを納品

すさみ支店は5月15日、白浜町のレジャー施設「アドベンチャーワールド」と連携し、動物飼料として春キャベツを200キロ納品しました。

アドベンチャーワールドの「地元の農家支援と食品ロスの削減に貢献したい」という方針にJAが賛同。生産者も交え生産・出荷計画や価格設定などを進めてきました。

納品する春キャベツはあくまで市場出荷用ですが、市場流通できないものや破棄する外葉部分も含まれるため、農家にも利点があります。5月末までに200キロずつ、計6回の1.2トを納品しました。

AGRIわかやま就農相談フェア開催についてのお知らせ

県内で新たに農業を始めた方と考える方を対象に、就農に関する様々な内容について相談をお受けします。また、過去に新規就農された方の話を聞くことができる「新規就農セミナー」も同時に開催します。お気軽にご参加ください。本フェアは事前予約を優先した上で、当日参加も受け付けます。予約については、二次元コードまたは就農支援センターHPより所定の様式をダウンロードして頂き、郵送・FAX・メールのいずれかでお申込みください。ご不明な点は、電話でお問い合わせください。



【日時】令和7年7月12日(土)10時～15時(新規就農セミナーは11時～12時、13時～14時)
【場所】和歌山県J Aビル(和歌山市美園町5-1-1)
【申込期間】令和7年7月4日(金)まで

【申込先】

郵送 〒644-0024
御坊市塩屋町南塩屋724

FAX 0738-23-3489

メール

e0716011@pref.wakayama.lg.jp
※二次元コードからも申し込み可能です



【相談受付内容】

- ・就農相談(研修、資金、農地、雇用就農等)
- ・農林大学校進学相談
- ・林業就業相談
- ・移住相談
- ・一部の市町担当者による各市町の支援や受入についての相談

※内容を変更する場合がございますので、開催日前までにHP等で確認ください。

※参加無料です。

【お問い合わせ先】

県就農支援センター
0738-23-3488
ホームページ
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071601/sintakujounhou/index.html>

相続・税金・法律無料相談会のご案内(予約制)

和歌山会場(9時～12時)

【会場】和歌山県J Aビル2F
和歌山市美園町5-1-1

【開催日】7月10日(木)※税務のみ

わかやま地域本部

073-471-3732

ながみね地域本部

073-482-6132

紀の里地域本部

073-677-7803

橋本会場(13時～16時30分)

【会場】紀北地域本部

橋本市高野口町名古屋922-2

【開催日】7月18日(金)※税務のみ

紀北地域本部

073-642-5323

有田会場(税務9時～12時)

法務13時～16時

【会場】ありだ地域本部

有田郡有田川町大字天満47-1

【開催日】7月8日(火)

ありだ地域本部

073-753-2314

御坊会場(13時～16時)

【会場】アグリセンターひだか

日高郡日高町高家420-1

【開催日】7月9日(水)

紀州地域本部

0738-22-6670

田辺会場(9時～12時)

【会場】紀南地域本部

田辺市朝日ヶ丘24-17

【開催日】6月20日(金)

7月18日(金)

紀南地域本部

073-923-3516

新宮会場(13時～16時)

【会場】新宮支店

新宮市井の沢10-1

【開催日】7月16日(水)

みくまの地域本部

073-552-5807

※その他の相談会については各地域本部にお問い合わせください。



人権の詩

2024入賞作品のご紹介
知事賞[中学生の部]

「都合のいい関係」
湯浅町立湯浅中学校 2年
蜂谷 真愛さん

「これ片づけといて!お願い、私たち友達でしょ?」
友達にそう言われた。
最初は戸惑ったが、友達だし仕方ないと思って
「分かった」
と言ってしまった。
そしたら友達はずっと私にたのんできた。
限かいいになって一回断った。
「友達やめるよ」と言われた。
すごく悲しかった。
私にも断る権利はちゃんとあるのに。

(公財)和歌山県人権啓発センター
※学校名・学年は応募時のものです。写真はイメージです。

第2回和歌山県農業協同組合理事会

開催日

令和7年4月30日(水)

報告事項

- (1) 降雹被害について
- (2) 令和6年度各JAの決算速報について
- (3) 総代選挙について
- (4) 理事との自己取引について
- (5) 令和6年度 無料職業紹介事業・デイワークの実績について
- (6) JAわかやま青年部設立について
- (7) 令和7年度産産物消費宣伝実施計画について

その他

協議事項

- (1) 和歌山県農業協同組合連合会財務確認調査の実施について
- (2) 総代懇談会の開催について
- (3) 和歌山県農業協同組合連合会の処分未済持分出資金の引き受けについて
- (4) 組合員の出資口数の減少について
- (5) 理事との自己取引について(ヘルプライン運営に関する覚書の締結)

第3回和歌山県農業協同組合理事会

開催日

令和7年5月30日(金)

報告事項

- (1) 各事業実績報告
- (2) JA合併に伴う財産の引継ぎについて
- (3) ALM委員会報告
- (4) 雹被害による建物共済 被害・支払状況について
- (5) 降雹被害支援対策実施要領について
- (6) 組合員組織について

協議事項

- (1) 和歌山県農業協同組合連合会との権利義務承継契約の締結について
 - (2) 第1回通常総代会の招集について
 - (3) 令和7年度会計監査人に関する監査報酬について
 - (4) 固定資産の取得について
 - (5) 組合員の出資口数の減少について
 - (6) 理事との自己取引について
 - (7) 不良債権の処理方針について
- その他



キャンペーン情報

クイズに答えて
応募して当たる!!

1つのわ になるキャンペーン

キャンペーン期間 2025年6月1日(日)~7月31日(木)

応募締切 2025年7月31日(木)23:59まで

抽選で100名様に
えらべるPay
500
ポイント

クイズ:○に入る、ひらがなはどれでしょう?

和歌山県内のJAが1つに!
JA○かやま誕生!

あ さ わ

キャンペーン
詳細はこちら!!



LINEから簡単に応募できます!

- 1 キャンペーンアカウント【ココ・カラ・和歌山キャンペーン】を友だち追加。
- 2 上記のクイズを解く。
- 3 トークルームに表示されるコメントに従って、アンケートとクイズの答えを回答。
- 4 「ご応募完了」のメッセージが届いたらご応募完了!

※えらべるPayの交換レートはお選びいただく商品により異なります。
※ご応募時に発生する、LINEアプリ、キャンペーンサイトなどへの接続料や通信料は、お客様ご自身の負担となります。

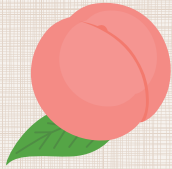
キャンペーンに関するお問い合わせ

0120-984-184 受付時間:10:00~17:00 ※土・日・祝日を除く



これ知ってる？

食農クイズ



Q3

桃の保存場所として最適なのは？

- ① 涼しい室内
- ② 密閉した箱の中
- ③ 冷蔵庫



Q2

梅干しに最適な梅は？

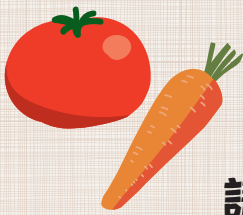
- ① もぎたての固い青梅
- ② 赤く色づいたもぎたての梅
- ③ 黄色く熟した完熟梅



Q1

トウモロコシのひげと数が同じなのはどれ？

- ① 葉っぱの枚数
- ② 根つこの本数
- ③ 粒の個数



Q5

緑黄色野菜に含まれる成分「β-カロテン」の語源は？

- ① カロリー
- ② カルテット
- ③ キャロット



Q4

ピーマンの苦みが和らぐ切り方は？

- ① 横切り
- ② 縦切り
- ③ 斜め切り

解答

A1 ③ トウモロコシのひげの

正体は、すべて粒1つ1つから伸びているめしべです。花粉がつくと受精し、粒の中に実が詰まっています。ちなみにひげが茶色くなっているのが、よく熟している合図ですよ。

A2 ③ 梅干しには、「南高梅」

や小梅など木の上でできるだけ熟した黄色めの完熟梅が最適です。表面が赤く色づいた梅は日光を浴びたため、熟度には直接関係ありません。もぎたての青梅は、ジュースや梅酒にどうぞ！

A3 ① 熟していない桃を冷蔵

庫に入れると、甘みが出ないので要注意。冷やすぎると味が落ちるので、食べる直前に冷やすのがおすすめです。箱で購入したら湿気がこもらないように蓋を開けて、冷暗所で保管してくださいね。

A4 ② ピーマンは切り方で味

わいが変わります。繊維を断ち切る横切りより、縦切りにした方が苦みや青臭さを和らげることができます。赤く熟したピーマンは甘みが増して苦手な人でも食べやすくなりますよ。

A5 ③ 抗酸化作用があり、免

疫力向上にも効果がある「β-カロテン」。名前の語源にもなったニンジンには「β-カロテン」を多く含む代表的な野菜。皮ごと調理するが薄くむいて食べるのがおすすめです。



天秤座
9/23~10/23

全体運 勘違いから問題を起こさないよう留意して。悪意あるうわさには耳を貸さないようにしましょう。下旬から運氣回復
健康運 香りの良いお茶と音楽が味方。ゆったり過ごして
幸運の食べ物 ピーマン

家庭de菜園

コールラビ — 肥大した茎を利用する野菜 —

栽培カレンダー(コールラビ)

	まきどき	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
冷涼地	春まき		●	▲	■	■	■	■	■				
	秋まき			●	▲	■	■	■	■	■			
中間地	春まき	●	▲	■	■	■	■	■	■				
	秋まき			●	▲	■	■	■	■	■	■		
暖地	春まき	●	▲	■	■	■	■	■	■	■	■		
	秋まき			●	▲	■	■	■	■	■	■	■	■

● 種まき ▲ 植え付け ■ 生育 ■ 収穫

コールラビは地中海北岸原産のアブラナ科野菜で、茎の基部が球形に肥大するので、別名を球茎甘藍(キウケイカンラン)とも呼ばれます。キャベツから分化した野菜のため似た性質を持ちますが、キャベツより暑さや寒さに強く、作りやすい野菜です。

中間地の秋まきは、7月下旬～9月上旬に種まきし、9～12月に収穫します。春まきは3、4月にまいて、6、7月に収穫します。

図1 畑の準備

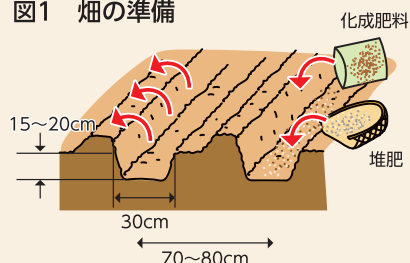


図2 種まき・苗作り



図3 植え付け

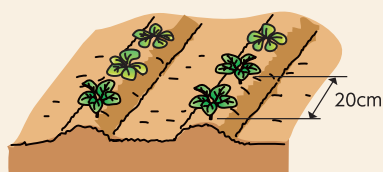


図4 追肥・土寄せ

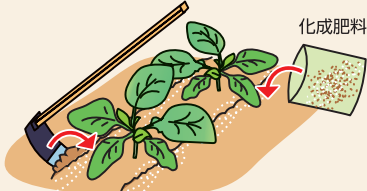


図5 収穫



種まき・苗作り

苗作りをするには、7.5～9cmポリポットに種を4、5粒まき、発

あらかじめ畑1平方mあたりに苦土石灰100gを土とよく混ぜておき、植え付け(または種まき)1週間前に畝幅70～80cm、深さ15～20cmの溝を掘ります。次に、この溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%程度)100gと堆肥1kg程度を施し、土を戻して畝を立てます(図1)。

品種

球の色が緑白の「ブランドデューク」(タキイ種苗)、紫の「パールデューク」(タキイ種苗)などがあります。

畑の準備

芽後に適宜密生部を間引き、1本立ちにして本葉4、5枚まで育てます(図2)。強健な野菜なので畑にじかまきしても良いでしょう。この場合は種を2、3cm間隔にまいて、間引きながら最終株間を約20cmにします。

植え付け

本葉4、5枚の頃、株間を約20cmに植え付けます(図3)。このとき植え穴に十分水を注ぎ、植え傷みの少ないようにします。

追肥・土寄せ

追肥は植え付け後20日ごろ、株元に化成肥料を1株約10g施用し、土寄せします(図4)。2回目は球が肥大する頃に施用します。生育が進み、下葉が傷んでいたら切り落としても良いでしょう。

収穫

球の直径が5～10cmのときに、株元から刈り取って収穫します(図5)。球が大きくなると肉質が堅くなります。堅い皮はむいて薄くスライスし、サラダなどにします。また、さいころ状に刻んで、スープ、ポトフなどでいただきます。

病害虫の防除

ヨトウムシ、コナガなどが多いので、登録農薬で駆除します。生育初期は、寒冷しゃなどの防虫ネットでトンネル被覆し、害虫の被害を防ぐと良いでしょう。



俳句・川柳・短歌

俳句

桑島 啓司 選

うららかや日に二時間の畑仕事

森 繁子 (和歌山市)

【評】健康を維持出来る自分の行動範囲を設定しているのだから。「うららか」は気候と心の両面にかかっている。

風光る隅田川行く屋形船

阪本美知子 (和歌山市)

ギヤマンの皿に一房黒ぶどう

大谷 信光 (和歌山市)

年重ね生きる喜び青き踏み

中村 王子 (和歌山市)

種を蒔く雨の予報の日に合はせ

奥 元英 (和歌山市)

春風の通る町屋の藍のれん

阪口 幸子 (和歌山市)

名刹の庭を巡りて花疲れ

藤井真知子 (和歌山市)

火吹き竹知らぬ世代や昭和の日

山本 和生 (海南市)

花筏風の意のまま濠めぐり

前 廣 (紀の川市)

青田風何か良きこと有りさうな

野口 城 (かつらぎ町)

職退きて踏み出す一歩春の風

田口 美鈴 (有田川町)

山肌に薄紫の藤の花

堀田美奈子 (日高町)

散歩する目高の群るる川に沿ひ

見本 隆英 (御坊市)

路の葉の影の大きく風に揺れ

平 房躬 (みなべ町)

入学を祝ふがごとく花吹雪

竹内明寿加 (田辺市)

亡き父のこぼれ集むる葉の日

下川美紀子 (新宮市)

川柳

木本 朱夏 選

小百合ちゃん八十路超えたと思えない

栗山 博成 (和歌山市)

【評】小百合ちゃんとは言わずと知れた吉永小百合さんのこと。永遠のマドンナも八十路ときけばその美しさの秘訣などをお聞きしたいものだ。

ペン踊るワクワク感の紀のわの輪

小栗 敏江 (和歌山市)

青春は遠い思い出シャボン玉

根田よしこ (和歌山市)

針と糸仲よく見えてもつれ合い

奥 元英 (和歌山市)

同級生叙勲めでたし豆をむく

森口満喜子 (広川町)

電話鳴る詐欺かも知れぬスルーしよ

藤井 実 (和歌山市)

ライバルに背中押されて渡る橋

上村八重子 (和歌山市)

物価高ママの手料理大ピンチ

平田 善治 (和歌山市)

応募ハガキ切手二枚を貼り足して

荒井 啓子 (和歌山市)

農良着から変身まずは紅をさす

田口 美鈴 (有田川町)

どれどれを食べて自慢の胴回り

吉村 幸子 (紀の川市)

春アイドル夏はオペラのホーホケキョ

晴亭 八太 (かつらぎ町)

古希迎え私の人生これからよ

柏木 仁美 (橋本市)

苗木植え「長生きせよ」と話しかけ

川嶋 夏生 (有田市)

楽しめどネイルの残り孫がくれ

岡崎澄美子 (和歌山市)

畑には幸せいっぱい埋まつてる

澤崎 幸子 (有田市)

短歌

井谷 まさみち 選

畑仕事いつまで出来るかわからない
それでも植えるみかんの苗木

松下 博美 (有田川町)

【評】長く続けて来た畑仕事だが、年齢を考えてふと立ち止まる。誰もがいつかは当面する難局である。選択したのは苗木を植えること。みかんの苗木は松下さんの夢であり、希望である。力強く、また一歩を踏み出す姿に心からの声援を送りたい。

春の海を押し上げて白波の
光の先にツバメ飛来す

田口 美鈴 (有田川町)

紀州富士春のかすみ包まれて
医聖の里も桃の花咲く

前 廣 (紀の川市)

新緑をお浸しにしたいと言う母の
つぶやく声に胸打たれたり

千品 三栄 (田辺市)

いにしへの父母の訪ひける石舞台
余花の風受け我も訪ひたり

田村 洋子 (和歌山市)

あちこちにアラームのサイン点滅し
身体のリズムに忙しき日々

有本ふくみ (和歌山市)

菜園のキャベツの芯を刻んでは
お好み焼きで無駄なく使う

荒井 啓子 (和歌山市)

万博をテレビで見つつ移りゆく
時代の進歩に心ときめく

やまと (有田川町)

白菜の高値の続くこの春の
野菜作れる畠は嬉し

平 房躬 (みなべ町)

今朝見ればチューリップも芽を出して
寒さの中に春の訪れ

花澤紀久子 (和歌山市)

9月号掲載

(8月発行)

応募メ切

7月10日 必着

「俳句 川柳 短歌」では、皆さまの作品を選句・選歌し、広報誌に掲載します。

俳句・川柳・短歌の区別をご記入のうえ、ハガキまたはメールフォームでご応募ください。

ハガキで応募

〒640-8331 和歌山市美園町5丁目1-1

JAわかやま広報地域対策課「俳句 川柳 短歌」係

※裏面に、俳句・川柳・短歌の区別と作品・住所・氏名・電話番号をご記入ください。

メールフォームで応募

右の二次元バーコードを読み込み、アクセス先のメールフォームにご記入ください。



射手座

11/23~12/21

全体運

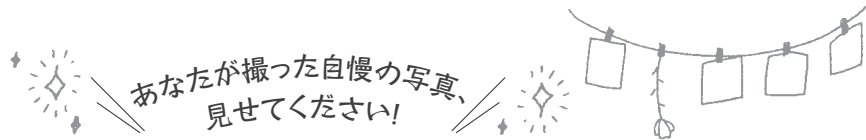
思い通りにならないことが多くイライラしがち。やり方を変えてみるのも選択の一つ。こだわりはほどほどで

健康運

無理はしないように。休養を取ることで回復

幸運の食べ物

モロヘイヤ



JAわかやま広報誌企画

わかやま映え

4月・5月の写真

このコーナーでは、読者の皆様から頂いた和歌山の魅力が詰まった「わかやま映え」写真を紹介していきます。皆さまお気軽にご応募ください。

A 森の妖精

【撮影者】makaho 【撮影場所】串本町森の中

B 有田川町鉄道公園の桜と人気車両

【撮影者】森 廉始 【撮影場所】有田川町鉄道公園

C 吉備ドームの夜桜リフレクション

【撮影者】一ツ田 友也 【撮影場所】きびドーム

D しだれざくら

【撮影者】柏木 仁美 【撮影場所】粉河寺

E 進水式

【撮影者】岡本 哲弥 【撮影場所】新芳養港



写真大募集

応募方法

- ☐ Eメールで応募 ※応募専用メールです。
応募用メールアドレス：wakayamabae@gmail.com
 - ☐ メールフォームで応募
右上の二次元バーコードを読み込み、アクセス先のメールフォームにご記入、送信してください。
- ※ 応募の際は右下の二次元バーコードを読み込み、募集要項を必ずご確認ください。



メールフォーム



募集要項

今回は6～7月の写真を募集
締め切りは7月18日迄です!

お問い合わせ先

〒640-8331 和歌山市美園町5丁目1-1
JAわかやま 広報地域対策課「わかやま映え」係
TEL:073-488-5520
(8:30～17:00 土日祝を除く)



こんなところ あります

須賀神社 【発信元:紀州地域】

須賀神社は1000年以上の歴史を持つ県内でも非常に古い歴史を有する寺社で、本殿は県指定文化財に登録されています。

毎年10月の8、9日には平安時代に京都祇園社から祭神を移した時の様子を再現したといわれる秋祭りが行われます。馬祭りとして有名で「流鏝馬神事」や2頭の馬が参道を駆け抜ける「競馬」には引退した競走馬も参加し、県外からの見物人も多く訪れます。

また昨夏より、やむなく伐採することとなった境内の樹齢300年の杉の大木が木彫りの龍「須賀青龍」に生まれ変わり、新たなパワースポットとなっています。駐車場横にて、目を流れる南部川の治水を祈り、地域を見守っています。



須賀青龍



競馬(みなべ町役場提供)



鳥居



本殿

所在地 日高郡みなべ町西本庄242

アクセス みなべから約10分

駐車場 あり(無料)



クロスワードパズルプレゼント

タテ・ヨコのカギを全部解いて、二重枠A→Eの順に並べてできる言葉はなんですか？ 出題●ニコリ

ルール 鍵を解く際、小さい文字(ヤ・ユ・ヨ・ツ等)が含まれる場合は、大きい文字(ヤ・ユ・ヨ・ツ等)として扱います。★【答え】に含まれる場合はどちらで明記いただいても正解とします。

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------|------------------------------|------------------------|----------------------------|--|------------------------------|--------------------------|-----------------------------|---|------------------------------|--|---|----------------|
| 16 14
うな重と一緒に〇〇吸い
を注文した | 13 11
観光、スクール、二階建
てといえは | 10
〇の文字を見る機会が減
りました | 8
葛まんじゅうの中に包み
込まれているもの | 6
疑問文では上げることが
多い | 4
アルコール分が含まれて
いない飲み物 | 3 2
早起きは三文の〇〇
サーファーが乗ろうとす
るもの | 1
夏休みの朝に通ってスタ
ンプをもらいます | 17
阿寒湖で育つものが有名
な藻類 | 16
億万智の第一歌集『サラ
ダ〇〇〇〇』 | 15 14
糸を通して布を縫います
1とその数自体しか約数
を持ちません | 12 11
メロンの生産量が日本一
である県 | 10 9
浴衣を着て〇〇を締めた
シヨッピングモールには
多くの〇〇〇〇〇が入って
いる | 7 5 2
閻魔大王がいるところ
ハワイ州の州都、ホノル
ルがある島 | タテの鍵
3人組のこと |
|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------|------------------------------|------------------------|----------------------------|--|------------------------------|--------------------------|-----------------------------|---|------------------------------|--|---|----------------|

読者プレゼント

応募〆切 7月10日(木) (ハガキは当日消印有効)

QUOカード
500円分 30名様

【パソコン・スマホから応募】

下記アドレスに答えと住所・氏名・年齢・電話番号と本誌の感想や要望などを書いてお送りください。

メールアドレス
jawakayamacrossword@gmail.com

右の二次元バーコードからも
応募できます



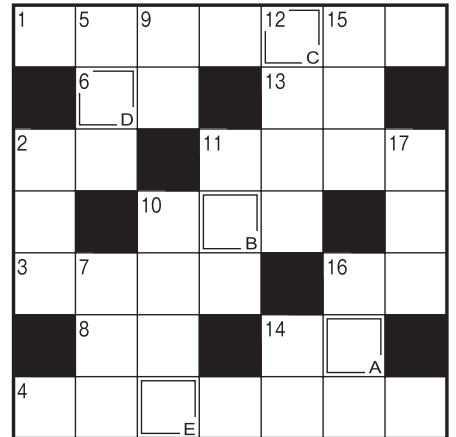
感想の一部を本誌で紹介することがありますので、
お名前の掲載を希望されない方はハガキ、メール、
メールフォームに「匿名希望」とお書きください。

【ハガキでの応募】

ハガキ表面→
ハガキ裏面↓

- ①クロスワードの
答え
- ②住所・氏名・年
齢・電話番号
- ③本誌の感想や
特集してほしい
コーナーなど

〒640-8331 和歌山市美園町5丁目1の1
JAWAKAYAMA 広報係



答え A B C D E

前回の答え

ウメシユ

訂正とお詫び

本誌6月号のクロスワードパズルで、18と19の共通の解答欄に「ユ(小文字)とユ(大文字)」が混在しており、正しい日本語にならないことが判明しました。小文字と大文字を同様に扱う旨の説明が不足しており、ご混乱を招く結果となり申し訳ございません。今後は表記上のルールを明記し、よりわかりやすい誌面づくりに努めてまいります。ここに訂正してお詫びします。

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>✉ 6月号には新採用された職員
の紹介があり、皆フレッシュユで若
さとやる気に満ちた1年生たち
で頼もしく、これからの日本と
農業を守るべく、その重責をは
たしてもらいたいと期待してい
ます。(広川町・大西教子さん)</p> | <p>✉ 他県から帰ってくると、各JA
の店先に生産された方の名前付
きでウスイエンドウなどが並び、
思わず顔がほころびます。豆ご
飯を想像してよだれが出てきま
す。美味しい匂いのものを口に
できる幸せをかみしめています。
農人の上山将一さん、いつもで
もお元気でいてください。
(串本町・泉伸子さん)</p> | <p>✉ 「こんなところありますスポット」は、
家族で出かけられる良きスポッ
ト、子どもも楽しめるスポット
が見つけれられるとうれしいです。
(かつらぎ町・松下佳菜さん)</p> | <p>✉ 新8JA誕生おめでとうござい
ます。さらなる飛躍を期待しま
す。「紀のわ」は読みやすく、楽
しく読ませていただきました。
(有田市・南村和代さん)</p> |
| <p>✉ JAが和歌山1つに統合されて
今後が楽しみです。各地域の事
を均等に網羅していただければ
ありがたいです。
(那智勝浦町・鳥崎徹さん)</p> | <p>✉ JAわかやまとなつて初めての
広報誌で見るのも新鮮でした。
他の地区の情報も興味津々に見
ていきたいと思っています。
(日高町・松浦秀樹さん)</p> | <p>✉ 6月号表紙の石本向日璃さんは
かわいくて、すてきな人ですね。
これからも和歌山県のすてきな
子どもの写真を載せてください。
(紀美野町・三宅俊希さん)</p> | <p>✉ 「紀のわ」はページ数のところま
で誕生星座占いページに使って
無駄がなくていいですね。
(紀の川市・木下登紀子さん)</p> |
| | <p>✉ 食農クイズ面白かったです。ズ
ッキーニの仲間はキュウリと思
っていました。カボチャ属だ
ったとは知りませんでした。見
た目でだまされました。
(和歌山市・浦野美紀さん)</p> | <p>✉ 和歌山のすばらしい景色、神社、
仏閣、建物など(知っていると
思っているところも)改めて紹介
していただけると再確認、再発
見することもあると思いますし、
良いところ見直しの機会にして
いただけたらいいかな。
(橋本市・藤田延子さん)</p> | |



皆さまからのひとことをご紹介します。
5月は478通のおたよりをいた
だきました。ありがとうございます！

家族で楽しむ おいしい一皿

栄養の宝庫・ナスを
丸ごと楽しむ
蒸しナスとツナの
マリネ



元気のもとの夏野菜、
丸ごと栄養をいただいて
暑い夏を乗り切ろう

材料・2人分

- ナス 3本(約250g)
- ツナ(油漬け) 小1缶
- しょうゆ 大さじ1
- 梅干し 小1個
- ① オリーブ油 大さじ1/2
- シソ 5枚

アレンジ

- ショウガを加える
- オリーブ油をごま油など好みのものに変わる

作り方

- ① ナスはへたを落として縦にしま模様になるようピーラーで2、3カ所皮をむく。①の梅干しは種を取って刻んでおく。
- ② レンジ可のボウルに①のナスを入れ、水にくぐらせて水気を軽く切る。そのままボウルにツナと①を入れてラップをし、レンジ(600W)で2分加熱する。軽く混ぜてさらに2分加熱し、刻んだシソをあえたら出来上がり。塩味は梅干しの塩分濃度によるので味見をして調整する。



ナスは自律神経を整えてくれるといわれ、夏バテ防止にとっても良い野菜です。水にさらし過ぎず、くぐらせる程度に。皮に栄養が多いためむき過ぎないようにしましょう。

レシピ提供●料理研究家 和田麻紀子



Person on the cover introduce

表紙の紹介

もりた てっぺい
森田 哲平さん

- 生年月日/昭和58年7月22日
- 年齢/41歳 □ 地域/田辺市

Q ご職業を教えてください

A ユニット活動を経て、昨年からソロの歌手として活動中です。関西独立リーグ「和歌山ウェイブス」のテーマソングも歌っています。コンサートやメディア出演などを通じて、地元和歌山から全国に向けて精力的に頑張っています!

Q 座右の銘は?

A 「変化なくして、進化なし」。尊敬する元野球選手の言葉です。現状を変えるのは怖い勇気のいることですが、必ずいい方向に転がると信じてまい進しています。

Q 目標は?

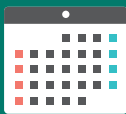
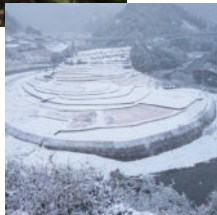
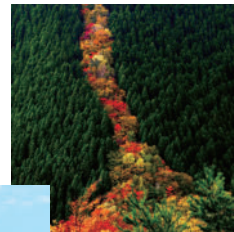
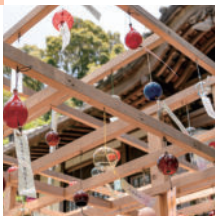
A 巨人ファンなので、東京ドームで国歌斉唱したい!

Q 読者に伝えたいことはありますか?

A 今年11月3日に田辺市の紀南文化会館でコンサートを行います。詳細はInstagram(@moritaya722)に掲載していますので、ぜひのぞいてみてくださいね!



撮影場所/扇ヶ浜公園

2026年 JAわかやま
カレンダー企画わかやまの
しきさい
四季彩

写真作品募集



◇ 募集期間

2025年7月31日(木)まで

◇ 応募規定

1 テーマ わかやまの四季彩

季節の写真、伝統行事・農のある写真など。

2 撮影地域

和歌山県内で撮影した写真とします。

3 応募条件

①一眼レフ、デジタルカメラ、スマートフォンなどで撮影した
画像データでの応募に限りま。写真の縦横は問いません。

②過去に撮影した写真でも応募可です。(過去3年以内)

③極端にサイズの小さい画像データは審査対象外となります。

④カレンダーの仕様上、横長の場合は左右が、縦長の場合は上
下がある程度切り取られる場合があります。また、印刷の都合上、
色彩に若干変化が出る場合もあります。ご了承ください。⑤ソフトやアプリによる極端な補正や合成等の加工作品は審査
対象外となります。⑥お一人様何点でも応募できますが、本人が撮影した写真に限
ります。

⑦未発表作品に限りま。

4 応募資格 和歌山県に住所を有する方。

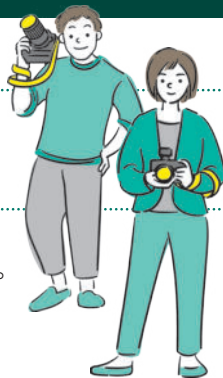
◇ 応募方法

□ Eメール

jawakayamakouhou@gmail.com

※応募専用メールです。

【様式】タイトルに「2026年カレンダー応募」と明記。

①氏名(掲載等にあたりペンネームを希望する場合は併記) ②
年齢 ③住所 ④電話番号 ⑤作品のタイトル ⑥撮影時期(年月)
⑦撮影場所を記入のうえ、写真を添付して送付してください。※ やむを得ず、Eメールでの応募が困難な場合は、各支店へ写真を持
ち込み可能とします。写真の裏に上記①～⑦を記入し、お近くの
支店に提出してください。

◇ 審査

1 厳正に審査し、各月1点(計12点)の採用作品を決定
します。撮影した写真に関してお問い合わせをさせ
ていただく場合があります。採用作品決定後、写真
データを再度ご提出いただく場合がありますので、
応募後も保存していただきますようお願いいたします。2 審査結果は、JAわかやま広報誌「紀のわ」やホーム
ページなどで発表します。採用者には審査結果をご
連絡します。3 採用者には図書カード(5000円)とJAわかやまカレ
ンダー完成品を進呈いたします。

◇ カレンダー仕様

B4見開き壁掛けタイプ

※発行に伴い部分的に変更する場合があります。

◇ 厳守事項

- ・応募に関する通信費などは応募者負担となります。
- ・応募作品の著作権は応募者本人に帰属し、使用権は
JAわかやまに帰属します。
- ・肖像権及び商標登録の無断転用並びに著作権の侵
害などに関わるトラブルに対して、JAわかやまは一
切責任を負いません。
- ・個人情報 JAわかやまの個人情報保護方針に基づ
き、適正に管理します。
- ・採用、応募作品はカレンダーの他、広報誌やホーム
ページ、広告などの媒体で使用する場合があります。
- ・応募をもちまして、この募集要項に関する全ての事
項に同意されたものとみなします。

◇ お問い合わせ先

- 〒640-8331 和歌山市美園町5丁目1-1
JAわかやま 広報地域対策課 カレンダー係
- TEL:073-488-5520 (8:30~17:00 土日祝を除く)

わかやま地域本部 TEL073-471-3731
〒640-8305 和歌山市栗橋642ながみね地域本部 TEL073-482-6131
〒642-0022 海南市大野中718-1紀の里地域本部 TEL0736-77-7801
〒649-6494 紀の川市上野12-5紀北地域本部 TEL0736-42-3000
〒649-7203 橋本市高野口町名古屋922-2ありだ地域本部 TEL0737-53-2311
〒643-0032 有田郡有田町天満47-1紀州地域本部 TEL0738-22-2480
〒649-1534 日高郡印南町印南2003紀南地域本部 TEL0739-23-3450
〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘24-17みくまの地域本部 TEL0735-52-0793
〒649-5331 東牟婁郡那智勝浦町天満122